

令和5年度「日本語」教育指導計画

目 標	日本の言語や文化に親しむことにより、日本語のもつ美しさや、日本人がもっている感性、情緒を養い、日本人としての教養を身に付け、我が国の言語や文化を継承し、新たな創造へとつないでいく態度を育てる。		
言 語	小学校第1学年及び第2学年 ○ 言葉遊びや、詩、ことわざ等について、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ態度を育てる。	小学校第3学年及び第4学年 ○ 言葉遊びや、詩、ことわざや慣用句等について、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ親しむ態度を育てる。	小学校第5学年及び第6学年 ○ 詩や、故事成語、四字熟語等について、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ味わう態度を育てる。
	中学生 ○ 詩の音読や暗唱を通して、日本語の響きやリズムを親しみ味わう態度を育てる。		
伝 統 的 な 言 語 文 化	小学校第1学年及び第2学年 ○ 俳句や論語等を読み、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ態度を育てる。 ○ 昔話や神話に描かれている情景や思いを想像しながら、音読したり読み聞かせを聞いたりすることを通して、我が国において継承されてきた言語文化を楽しむ態度を育てる。	小学校第3学年及び第4学年 ○ 俳句や短歌、川柳、論語等を読み、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ親しむ態度を育てる。 ○ 昔話や地域の民話に描かれている情景や思いを想像しながら、音読したり読み聞かせを聞いたりすることを通して、我が国において継承されてきた言語文化に親しむ態度を育てる。	小学校第5学年及び第6学年 ○ 俳句や短歌、川柳、論語、漢詩等を読み、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを楽しむ味わう態度を育てる。 ○ 古典に描かれている情景や思いを想像しながら、音読したり読み聞かせを聞いたりすることを通して、我が国において継承されてきた言語文化を味わう態度を育てる。
	中学生 ○ 俳句や川柳、論語等を読み、何度も繰り返して音読、暗唱することを通して、日本語の響きやリズムを親しみ味わう態度を育てる。		
伝 統 文 化	小学校第1学年及び第2学年 ○ カルタ遊びの中でことわざに親しみ、祝日や行事に触れ、伝統的な遊び等の体験を通して、我が国の伝統文化に親しむ態度を育てる。	小学校第3学年及び第4学年 ○ 郷土の地名や方言、行事等に関心を持ち、体験や調べ活動を通して、我が国の伝統文化に親しみ、郷土を愛する態度を育てる。	小学校第5学年及び第6学年 ○ 郷土の伝統文化だけでなく、我が国において継承されてきた伝統文化や、これからも大切にしていきたい伝統文化に親しみ、郷土や国を愛する態度を育てる。
	中学生 ○ 郷土の伝統文化だけでなく、我が国において継承されてきた伝統文化や、これからも大切にしていきたい伝統文化に親しみ、日本人としての自覚をもって国を愛する態度を育てる。		
礼 儀 作 法	小学校第1学年及び第2学年 ○ あいさつなどの基本的な生活習慣や社会生活上のきまりを知り、実生活の中に取り入れようとする態度を育てる。	小学校第3学年及び第4学年 ○ 礼儀作法の大切さを知り、実生活の中に取り入れようとする態度を育てる。	小学校第5学年及び第6学年 ○ 時と場をわきまえた礼儀作法を知り、実生活の中に取り入れようとする態度を育てる。
	中学生 ○ 礼儀作法の意義を理解し、実生活の中で、時と場に応じて適切に取り入れようとする態度を育てる。		

3. 指導内容

月	1学年		2学年		3学年	
	時間	指導事項、内容など	時間	指導事項、内容など	時間	指導事項、内容など
4	0				2	「葉隠」の伝統 (1)「葉隠」精神について知り、今の自分やこれからの生き方を考える。 【留意点】葉隠は「武士道とは死ぬことと見つけたり」が、あまりにも有名であるが、この解釈にも諸説ある。本単元では、現代の日常生活にも通じる礼儀作法や人としての心構えを中心に扱う。
5	0		6	敬語による心の態度 (1)敬語について理解し、敬語を実生活にいかそうとする態度を身に付ける。 【留意点】敬語については、教科「日本語」の中でも、小学校から取り扱っている。国語の学習や、日常生活での意識化を図っていくことが望まれる。	4	論語に学ぶ (1)論語の意味や内容を理解し、日常生活に生かそうとする態度を身に付ける。 【留意点】教科「日本語」では、小学校第1学年から論語を学んでいる。小学校で学習した「論語」の学習を振り返り、意味や教えを考えていくようにする。
6	4	プレゼンテーションで自己表現 (1)プレゼンテーションの仕方を知り、効果的な資料や役割を考え、相手に分かりやすく思いを伝える方法を見つける。 【留意点】題材によっては、個人やグループでの学習活動になる。実態に応じて、プレゼンテーションの方法は、各学級(学年)の実態に応じたものとする。	5	電話の便利さと気づき (1)電話のかけ方・受け方について理解し、実生活にいかそうとする態度を身に付ける。 【留意点】職場体験の依頼との関連を図ることが望ましい。実態に応じて、携帯電話やメールのやり取りについてのマナーについても触れる。	4	日本の住には知恵がたっぷり (1)未来に伝えていきたい日本の「住」について、日本の家屋のよさや室礼について再発見し、日本人の自然に対する細やかな感性や、その土地の風土とともに生きてきた歴史について考える。 【留意点】修学旅行との関連を図ることが望ましい。
7	4	プレゼンテーションで自己表現 (1)プレゼンテーションの仕方を知り、効果的な資料や役割を考え、相手に分かりやすく思いを伝える方法を見つける。 【留意点】題材によっては、個人やグループでの学習活動になる。実態に応じて、プレゼンテーションの方法は、各学級(学年)の実態に応じたものとする。 佐賀の焼物は私たちの自慢① (1)佐賀の誇りである陶磁器の歴史や制作工程を知り、焼物の歴史や文化への興味・関心を高める。 【留意点】ゲストティーチャーを招聘して、焼き物についての講話をいただいたり、焼き物を作ったりすることもできる。	0			

8	4	佐賀の焼物は私たちの自慢② (2)佐賀の人間国宝に指定されている人や全国の焼物について調べ、伝統を受け継ぎ、新たな文化の創造をするということについて考える。			2	主張できることの大切さ① (1)心に響く作品に触れ、ものの見方・考え方を学び、自分のこれからの生き方を考え、自分の言葉で書き表す。
9	4	俳句のおもしろさにふれる (1)俳句の音読や鑑賞を通して、言葉の響きや趣を味わう。 (2)俳句の創作や鑑賞を通して、批評力や表現力を養う。 【留意点】俳句が得意な方をゲストティーチャーとして招聘し、教科書の添削例を基に、T2として、随時生徒作品を添削していく授業も展開できる。	4	手紙のあたたかさや心づかい (1)手紙の書き方について理解し、実生活にいかそうとする態度を身に付ける。 【留意点】職場体験の礼状との関連を図ることが望ましい。手紙の書き方については、教科「日本語」の中でも、小学校から取り扱っている。特に、小学校第6学年「手紙を書こう」での学習を想起させたい。	6	主張できることの大切さ② (2)主張会を開き、自分の思いを声に出して伝える。 【留意点】主張会については、グループや学級、学年全体で取組むことも考えられる。
10	2	礼儀作法は自分と他人のためのもの (1)正しい姿勢や動作、お辞儀の仕方を知り、日常生活で相手を思いやる作法をしているか振り返り、日本文化独特の作法やよさを実感するとともに、進んで使おうとする態度を身に付ける。 (マナー検定に向けて)	5	川柳は身近な言葉遊び (1)川柳のおもしろさや表現の仕方を知り、川柳づくりを味わう。 (2)作った川柳と解説を紹介し、鑑賞をしていく中で、自分や友だちの表現のよさや感性に触れる。 【留意点】小学校4学年「俳句や川柳を読もう・楽しもう」、小学校5学年「俳句や川柳を味わおう」との関連を図る。		
11	2	礼儀作法は自分と他人のためのもの (1)正しい姿勢や動作、お辞儀の仕方を知り、日常生活で相手を思いやる作法をしているか振り返り、日本文化独特の作法やよさを実感するとともに、進んで使おうとする態度を身に付ける。 (マナー検定に向けて)	5	日本の食と装のよさに浸る① (1)日本の食文化や行事食、食事のマナーについて知り、日本の食文化のよさや作法を実感するとともに、日常生活の中でよりよい作法を行おうとする態度を身に付ける。 【留意点】食文化では「飾り切り」、和装では「浴衣を着る」等の体験活動を行っていくことで、より文化を味わう学習の効果が期待できる。	7	茶道が教えてくれるもの (1)「茶道」の歴史や考え方について知り、日本人の美意識について理解する。 (2)茶道具や作法について知り、実体験を通して茶道のよさを感じ、日常生活に生かそうとする態度を身に付ける。 【留意点】ゲストティーチャーを招聘し、実際に薄茶をいただく体験をさせることが望ましい。
12	0		5	日本の食と装のよさに浸る② (2)和装と洋装のよさについて知り、それぞれのよさを実感するとともに、日常生活に生かそうとする態度を身に付ける。	2	マナーとコミュニケーション (1)社会に出るために必要なマナーを学び習得し、これからの実生活や社会生活に活かそうとする態度を身に付ける。 【留意点】進学や就職等、これから実社会に出るという自覚と、これまでの礼儀作法や相手に対する思いやりについて振り返らせる機会にしたい。
1	0		5	方言を大事にした言語生活 (1)共通語と方言の歴史について知り、方言のよさを大切にする態度を身に付ける。 【留意点】小学校第3学年及び小学校第4学年「方言を楽しもう」との関連を図る。 ゲストティーチャーとして「佐賀にわか」を語ることができる方を招聘したり、DVD等を視聴したりすることで、方言への親しみを持たせたい。	4	
2	0		0		4	美しい日本語の響き (1)美しい日本語で表現された詩を味わい、感性を磨く。 【留意点】全校生徒の前で、暗唱や群読をする機会をもつようにする。 日本語の美しさを語る (1)日本語の響きや趣には、これまでの歴史の中で育まれたものだということ知り、言葉や伝統文化、礼儀作法のよさについて再認識する。 【留意点】日本語の学習を振り返り、言語や文化、礼儀作法等の「日本のよさ」を再確認する場とする。
3	0		0		0	
合計	20		35		35	